

## 釜石発

## 三陸ぐるっと食堂



被災地復興に向けた地域おこしの一環として初めて企画された「三陸ぐるっと食堂」が釜石で開かれました。県沿岸部の8つの団体と、B-1グランプリに出場した全国7団体が特設ブースを作り、自慢の味を披露しました。会場には大勢の人が、食べ歩きを楽しんでいました。(8/29ニュース)

## 盛岡発

## 被災地の郷土芸能支援

大手飲料メーカーのアサヒビールグループが「いわて未来づくり機構」に寄付金2170万円を贈りました。被災地の郷土芸能の保存・発展のため支援を行っており、今回は沿岸12市町村の36団体に助成金として贈られます。(8/31ニュースエコー)



## 釜石発

## 被災事業者の調査



釜石市が被災した市内1035事業者の調査を行った結果、仮設店舗を含め6割以上が事業再開をしたこと、一方で仮設事業者の本設への再建の課題については半数以上が売り上げや顧客の減少と資金の確保を挙げ、震災による経営環境の悪化が壁となっていることが分かりました。市は現在176の事業者が営業する仮設店舗を2018年度末までに廃止する方針で、今回の結果を受け、来月にも今後の具体的な支援策を示す考えです。(9/1ニュースエコー)

## 陸前高田発

## さんりく元気ラジオ！

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

9月10日のさんりく元気ラジオは、陸前高田災害FMの大久保暢子さんが、この夏のインターハイ・陸上男子やり投げで優勝した高田高校3年・長沼元(げん)君について伝えてくれました。長沼くんは、気仙中学校では野球部でしたが、強肩を買われやり投げに挑戦。コロンビアでの世界ユースにも日本代表として出場しました。今後は「2020年の東京オリンピックを目標に頑張り、被災した方に元気を与えたい。」と話しています。(9/2)

## 盛岡発

## 地元特産品を販売

大槌町の小・中一貫校、大槌学園の中学部の生徒が、震災で被災した地元の商店を元気づけ、販路拡大につなげようと、盛岡で町の特産品を販売しました。今回は中学2年生にあたる8年生の90人が盛岡市内3か所で、海産物や地元のスイーツなどを販売しました。来年は東京への修学旅行の際、地元の特産品を紹介する手づくりチラシを配る予定です。(9/3ニュースエコー)



## 宮古発

## コンクリづくり体験

復興道路の工事に伴い宮古市田老地区に建設された生コンクリートの生産設備を地元の中学生が訪れ、コンクリートづくりを体験しました。体験学習を行ったのは宮古市立田老第1中学校の1年生34人です。生産設備は三陸沿岸道路の工事に伴う建設資材不足を補うため作られ、コンクリートは田老地区のトンネルや橋に使われます。生徒たちは、コンクリートの強度が基準に達しているかどうかの確認作業の体験や、コンクリートに手形を押して設備に飾る記念品を作ったりしていました。(9/8ニュースエコー)



## 大船渡発

## さんりく元気ラジオ！

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今日は、FMねまらいんの及川透子さんが、大船渡市の地域密着型ネットショッピングサイト『三陸まるごと市』について伝えてくれました。『三陸まるごと市』は地元の「柊びーぷる」が、三陸の様々な名産を全国に知ってもらおうとともに、震災で被災した企業の販路拡大に繋がればとの思いから立ち上げたサイトです。及川さんのインタビューに対してサイト関係者は「今後、多くの人にこの『三陸まるごと市』を知ってもらい、大船渡の魅力をより知って欲しい。」と応えていました。(9/9)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122